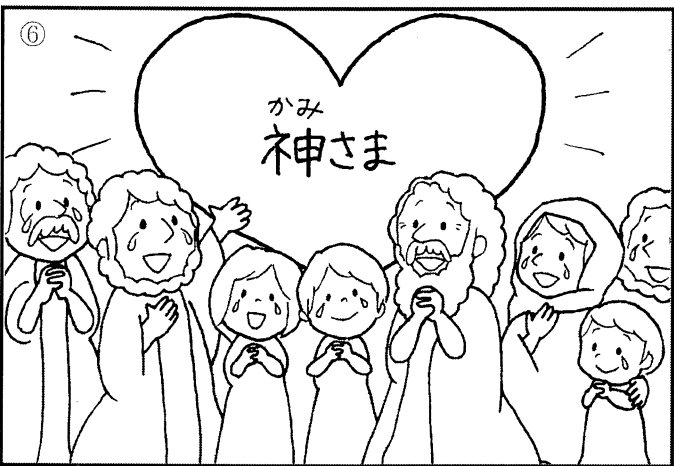
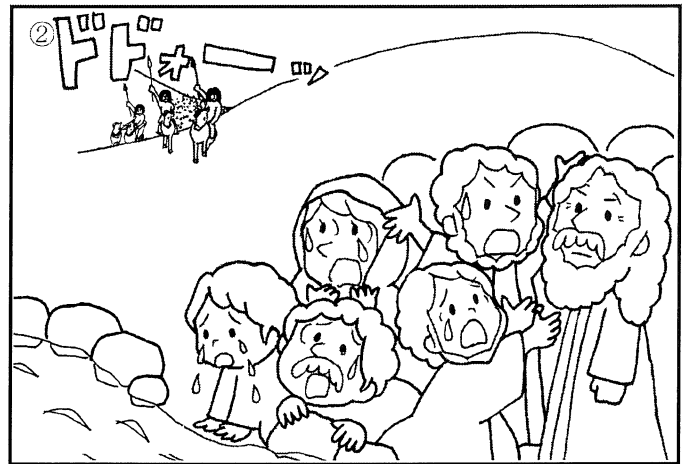
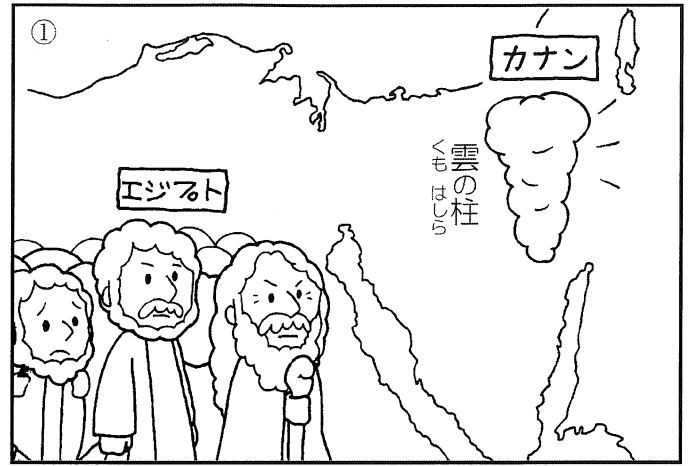


1月5日 「神様に守られて歩もう」 出エジプト 12・1～14

1. イスラエルの人々は、エジプトで奴隷として、強制労働させられていた。
2. 罪の奴隷。したくはないのに、心の中で友人の文句を言っている女の子と、友達と万引きしている男の子。
3. モーセがパロに、「エジプトから出してください。」と願った。パロは許してくれなかった。
神様は、イナゴやカエルの大群、病気などの災いを与えられた。
4. 神様の言われるものを食べ、二つの柱とかもいに、小羊の血を塗っている。
5. 神様の約束を守らなかった家は、初子が死んだ。実行したイスラエルの民は災いから守られた。
6. 神様はわたしたちに、イエス様の十字架、イエス様の血を与えてくださり、罪の奴隷、裁きから救ってくださった。

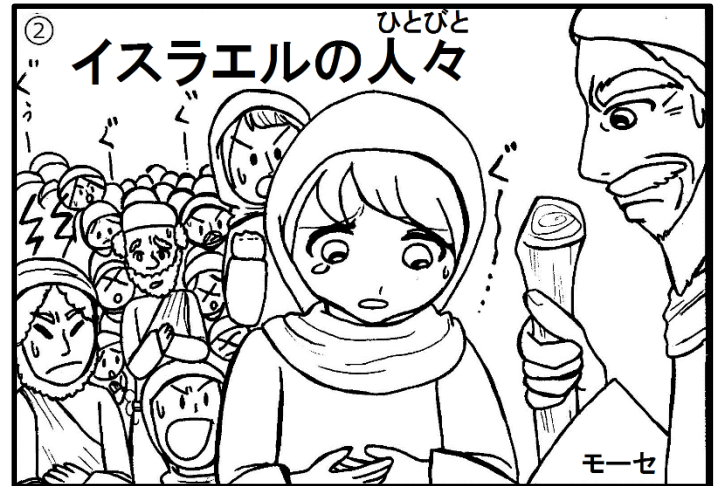
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



1月12日 「神様、助けてください！」 出エジプト 14・10～27

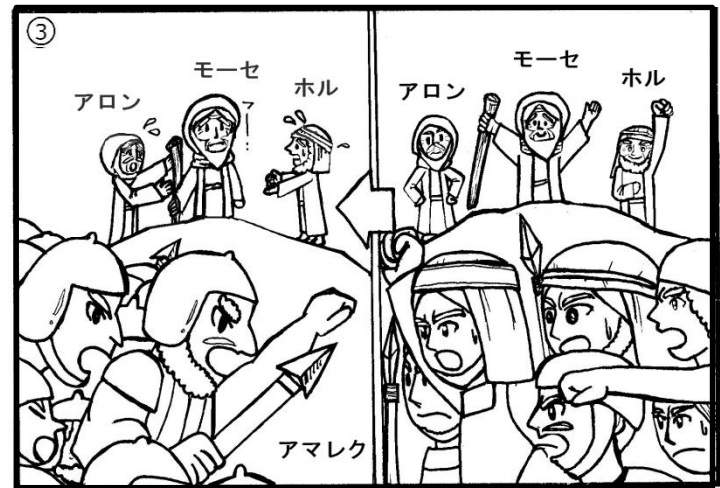
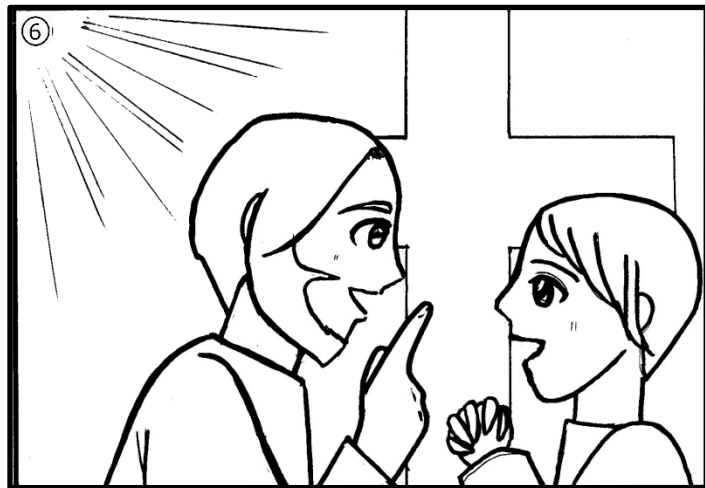
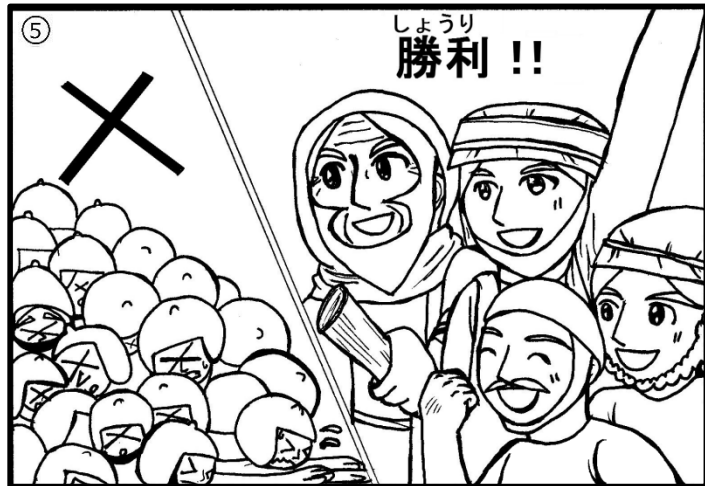
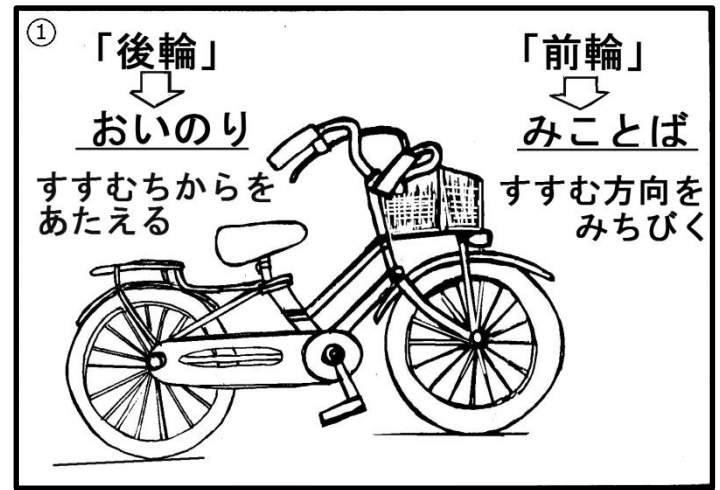
1. 雲の柱に導かれ、モーセをリーダーとして、カナンの地を目指して進んでいくイスラエルの人々。
2. エジプト軍が追いかけてきた。目の前は海で、イスラエルの民は、モーセに不満をぶつけた。
3. モーセは、「落ち着きなさい。今日、神様は必ずあなたたちを救ってくださる！」と言った。
4. モーセが杖を上げ、手を海に向かって差し伸べると、海が分かれた。
5. モーセがもう一度、手を海に差し伸べると、海の水が戻り、エジプト軍は溺れ死んでしまった。
6. 民は神様を畏れ、神様とモーセを信じるようになった。そして感謝の歌を神様にささげた。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



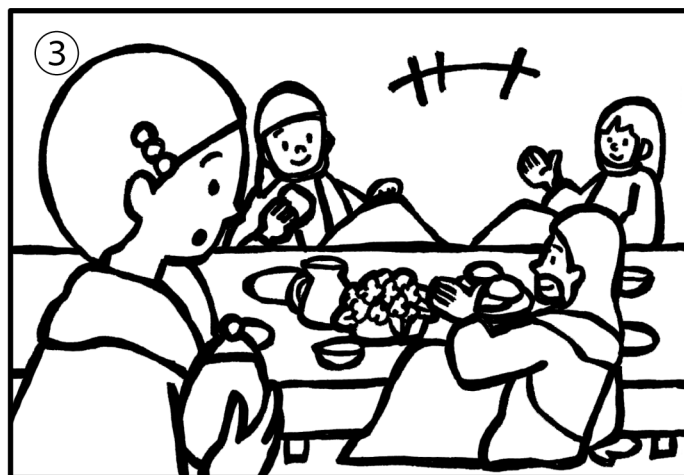
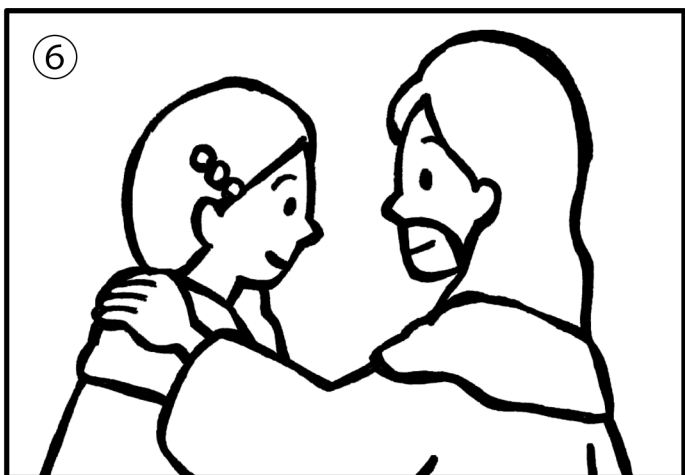
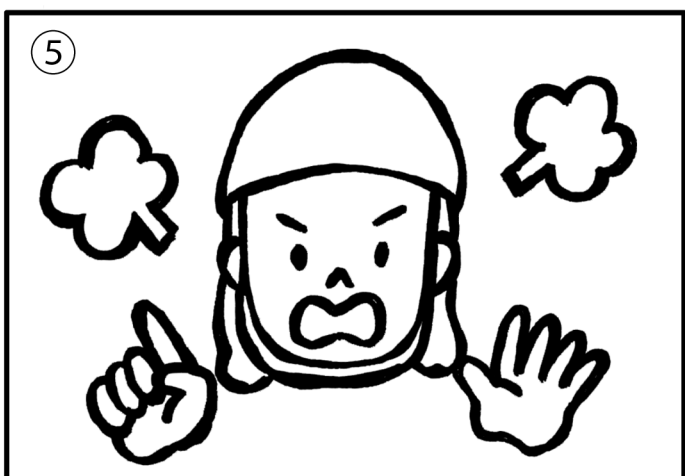
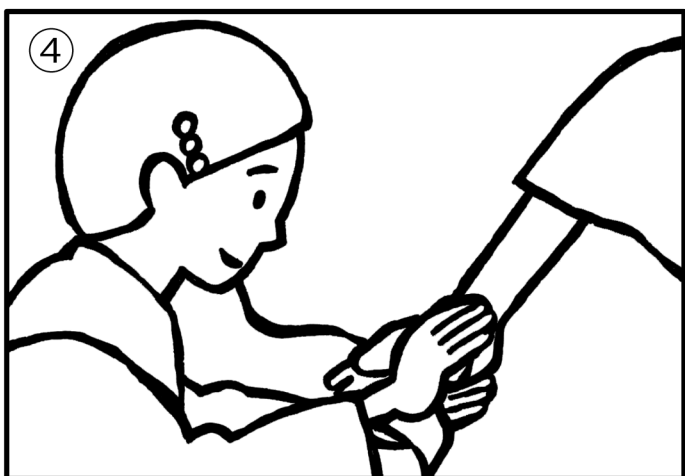
1月19日 荒野で与えられた食物 出エジプト 16・31～36

1. イスラエルの人たちは「約束の地（カナン）」を目指す旅が始まりました。私たちも、「約束の天国（神の国）」を目指して旅をしているのですよ。
2. イスラエルの人たちは既に何十日も歩き続けていました。ろくに食べ物を食べていません。「もうお腹が減って死にそうだー」とみんな口々につぶやきました。
3. 父なる神様は、イスラエルの人たちが旅を元気に続けられるように、毎朝、うっすら雪が降ったように、白い粉が地面の上にありました。それを集めて焼くと甘いビスケットのようでした。それを「マナ」と呼びました。
4. 父なる神様は、今の私たちも「天国を目指す旅、イエス様に従い続ける旅」が元気に続けられるように、マナのように「天からのパン」を与えてくださっています！
5. 私たちが生きていくためには、体のためのパンやごはんも必要ですが、それ以上に「心のためのパン」が絶対に必要なんです。
6. この「聖書」はマナよりももっと不思議な、神様からの「心のパン」です！毎日みことばを食べれば、天国に行くまでずっと歩き続けることができますよ！



1月26日 祈りの手 出エジプト 17・8～16

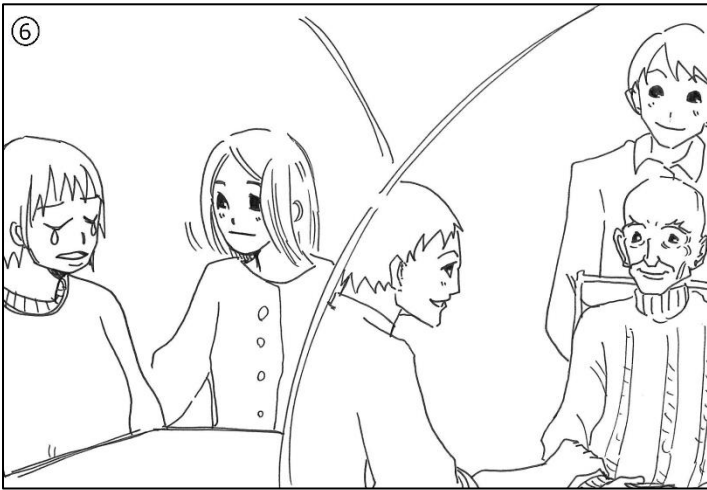
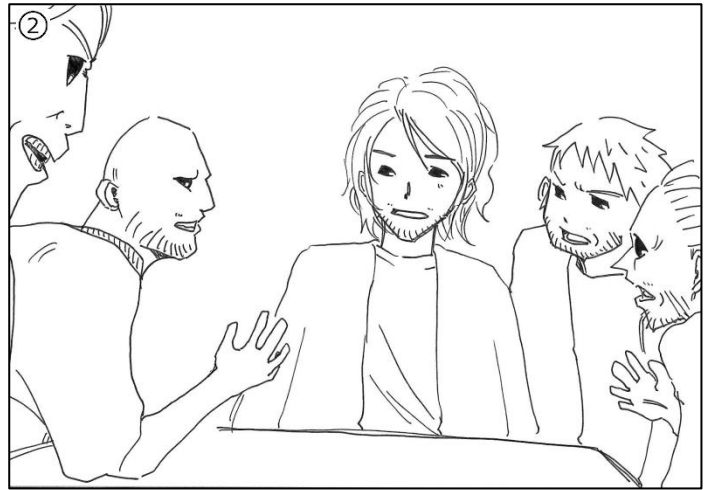
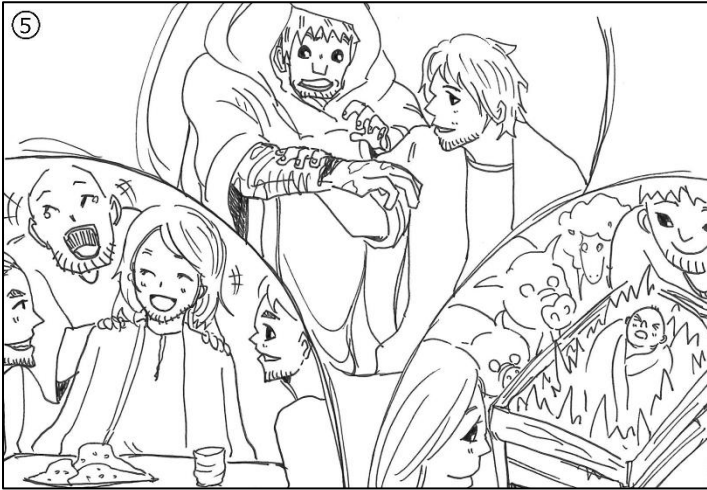
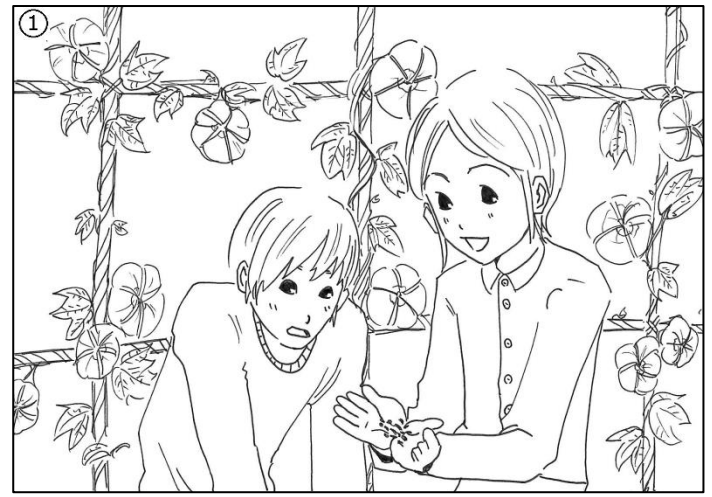
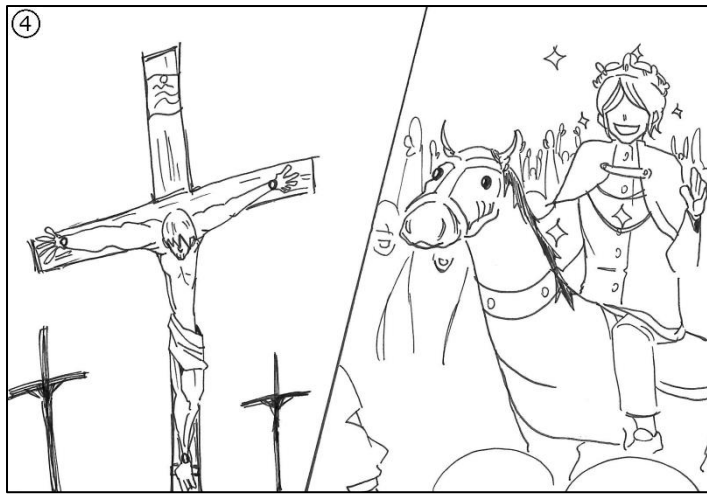
1. 「みことば」と「お祈り」、この二つはちょうど自転車の前輪と後輪のように無くてはならないものです。
2. 旅を続けるイスラエルの人たちに、アマレク人たちが旅の行く手を邪魔し、戦いをしかけてきたのです！
3. ヨシュアさん達が敵と戦っている間、モーセさんは手を天に挙げて、イスラエルが勝つように神様に必死に祈りました。長い時間祈り続けました。するとだんだん祈り疲れてきました。「ちょっと休憩…」と思って祈りをやめると、敵が勝ってきました。
4. 「いかん、いかん」と思って、また慌てて祈り始めるとイスラエルが勝ってきました。アロンさんとホルさんが右と左で手を支えたので、モーセさんは最後まで祈り通すことが出来ました。
5. 遂にイスラエルが勝利しました！
6. イエス様は「お祈り」について繰り返し、繰り返し、教えられました。「父なる神様の御心ならば、この祈りはどんなに難しくても、必ずかなえられる！」と、不可能を可能に出来る神様を信じて祈ることです！



2月2日 まごころこもった贈り物 ヨハネ12・1～8

1. イエス様は、十字架にかかって死ぬ6日前にもう一度ベタニヤ村に来られました。
2. マルタがてきぱきと夕食の準備をする一方で、マリヤは「イエス様のために何ができるかしら…」と考えていました。
3. みんなが楽しくお話ししながら食事をしているところに、マリヤがきれいな石膏の壺をもって入ってきました。
4. マリヤはイエス様の側に来ると、香油をイエス様の足にぬり、自分の長い髪の毛でその足をふいたのです。
5. イスカリオテのユダが「なぜこの香油を三百デナリに売って、貧しい人たちに、施さなかったのか」とマリヤの行動を非難しました。
6. 私たちも、自分にとって大切な最高のものをささげ、イエス様に感謝と愛を表わしましょう。

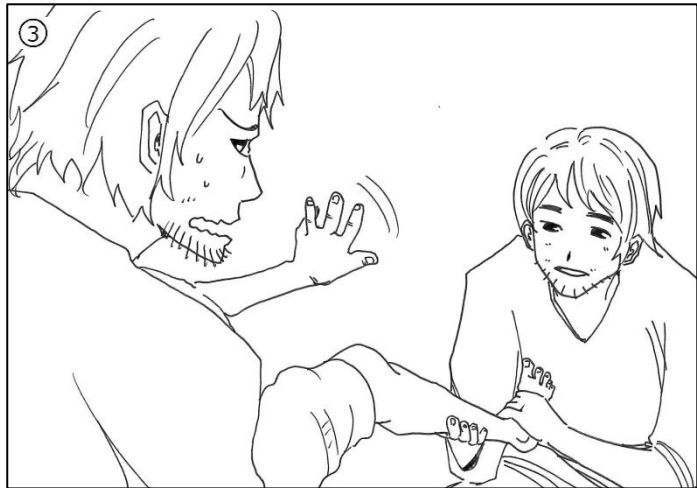
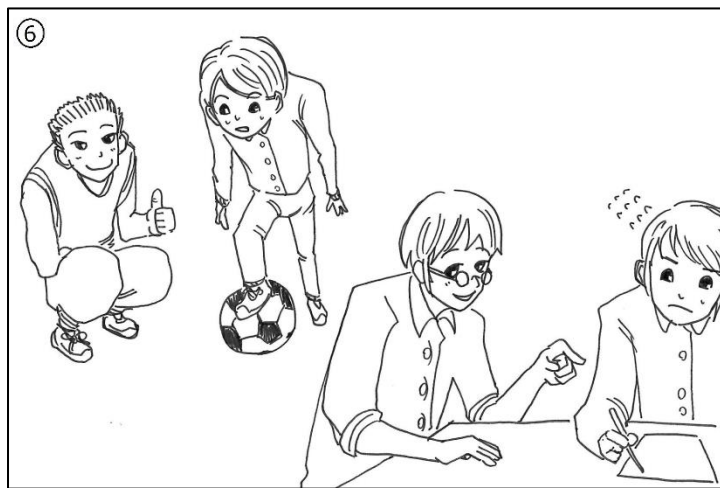
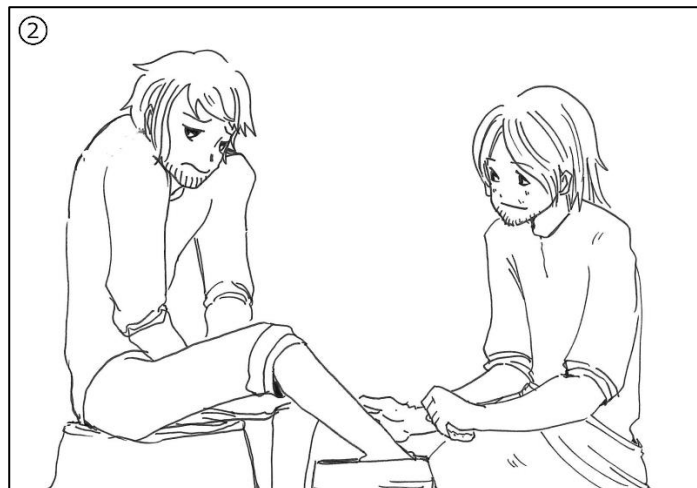
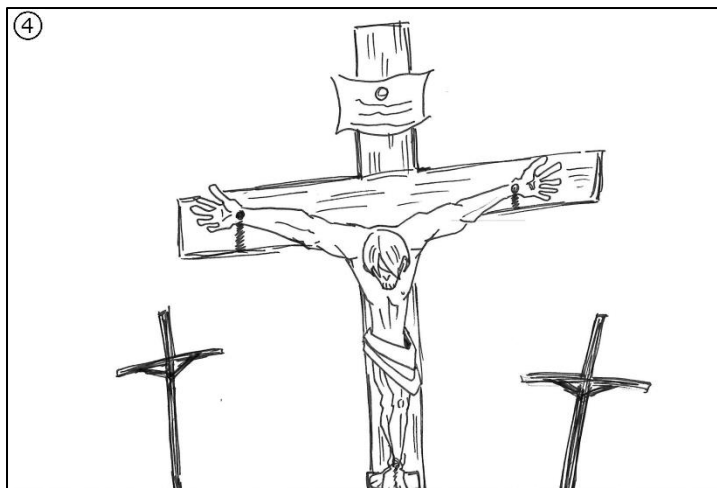
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



2月9日 一粒の麦として ヨハネ 12・20～28

1. みなさんは朝顔を育てたことはありますか。
2. イエス様がエルサレムに入場されて、もうすぐ十字架にかかるというある日のことです。ちょうど、エルサレムの町は過ぎ越しの祭りのためにたくさんの人たちが集まっていた。
3. 「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、もし死んだなら、豊かな実を結びます」。
4. さっきお話になった「人の子が栄光を受ける時が来ました」の意味がここからわかります。イエス様は、多くの人たちから王様としてほめたたえられるために、この世に来られたではありませんでした。
5. イエス様の人生は、生まれた時から貧しいものでした。宿に泊まることができず馬小屋で生まれ、その生涯は自分がほめたたえられることよりも、弱い、貧しい人たちや、病氣の人、女性や子どもを大切にされましたよ。
6. わたしたちも、イエス様のようになりたいと思いませんか？

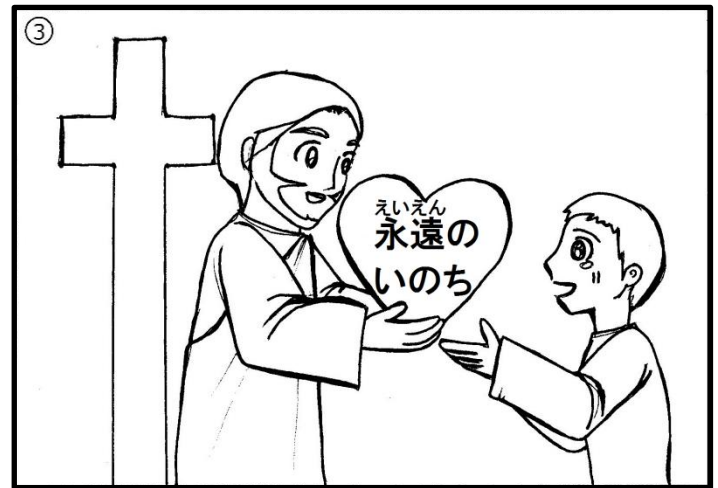
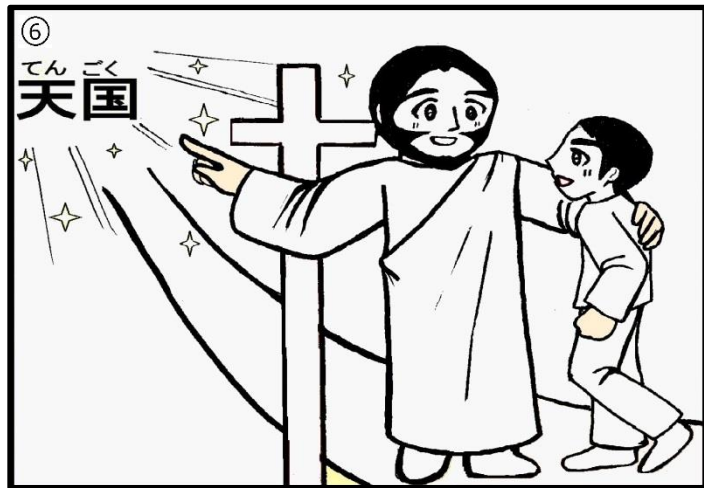
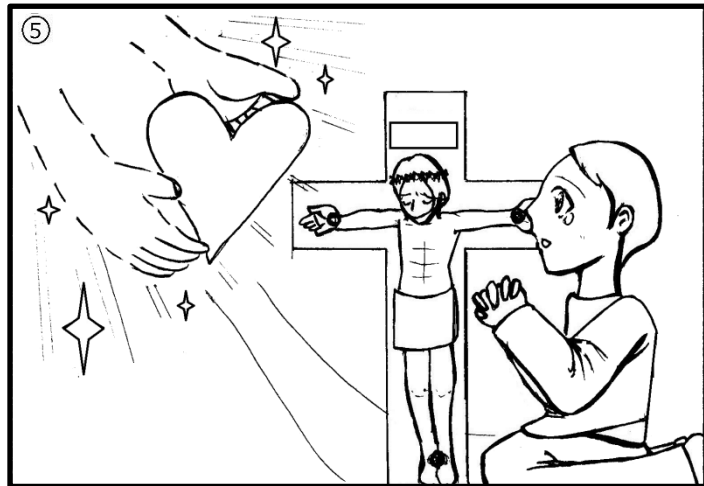
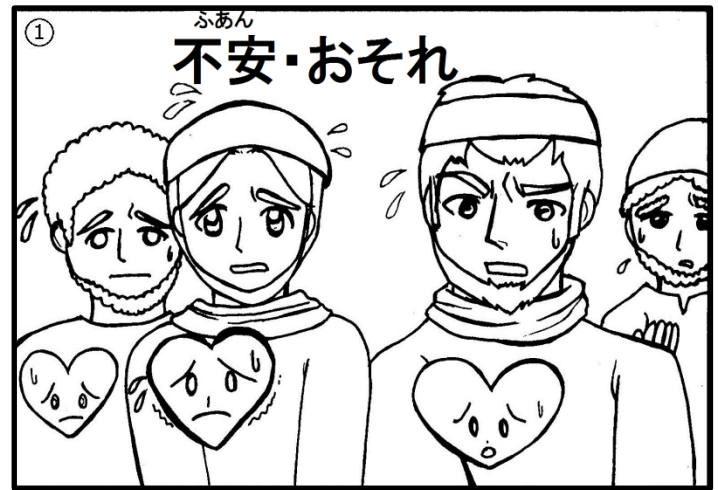
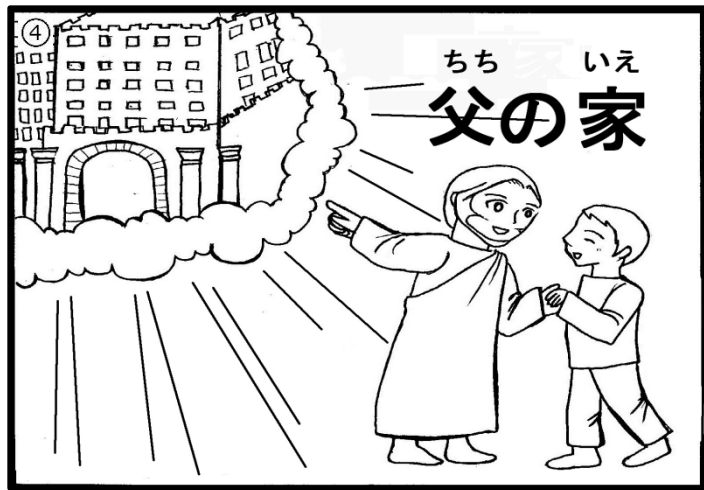
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



2月16日 洗足の恵み ヨハネ13・1～15

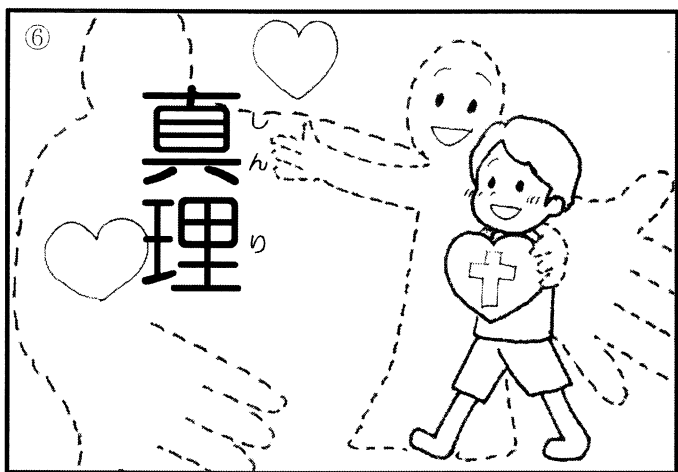
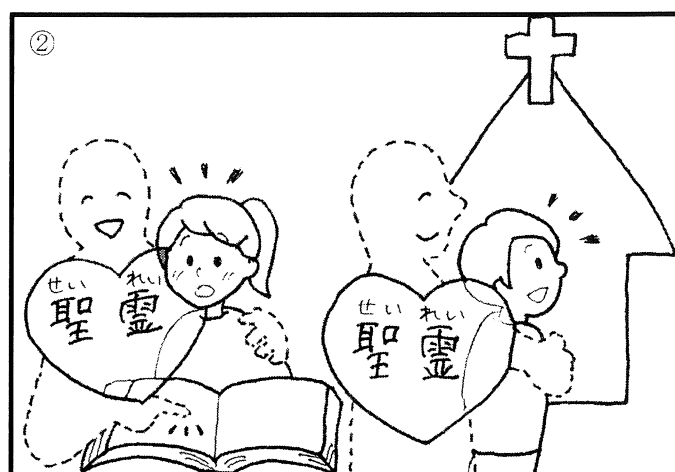
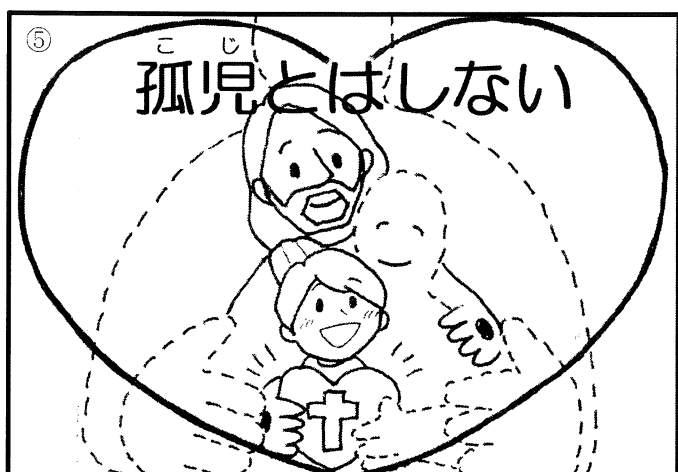
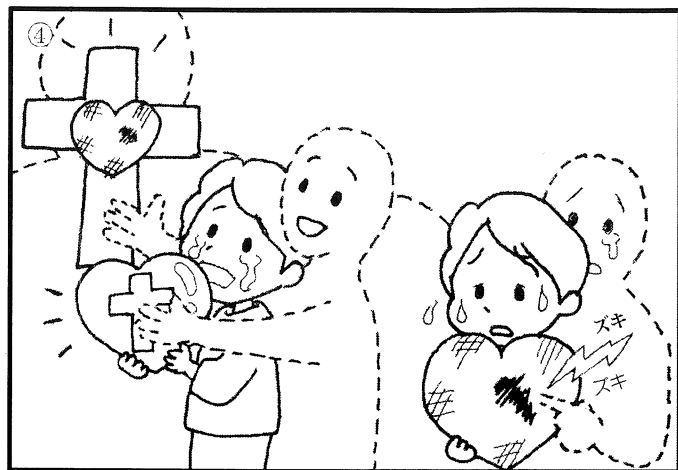
1. みなさんは、大震災にあった方たちが…足湯マッサージをしてもらっている姿を見たことはありますか？
2. もうすぐイエス様が十字架にかかれるという頃のことです。イエス様は弟子たちを最後の最後まで愛しておられました。
3. ペテロの番になったとき、ペテロは思わず「主よ、あなたが私の足を洗ってくださるのですか？」
4. イエス様が弟子の足を洗うことは、これから十字架にかかって、全世界の人々の罪を背負って血を流し死なれることを意味していました。
5. 学校や塾でだれが一番？と競争することがあるかもしれません。…けれども、そのことで自分が他の人より偉いと思ったり、弱い人をばかにするなら、それはイエス様のお姿とはちょっとちがいます。
6. お互いに足を洗うとは、心を低くして周りのお友だちのお手伝いをする事なんですよ。みなさんの得意なこととはなんですか？

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



2月23日 道なるキリスト ヨハネ 14・1～6

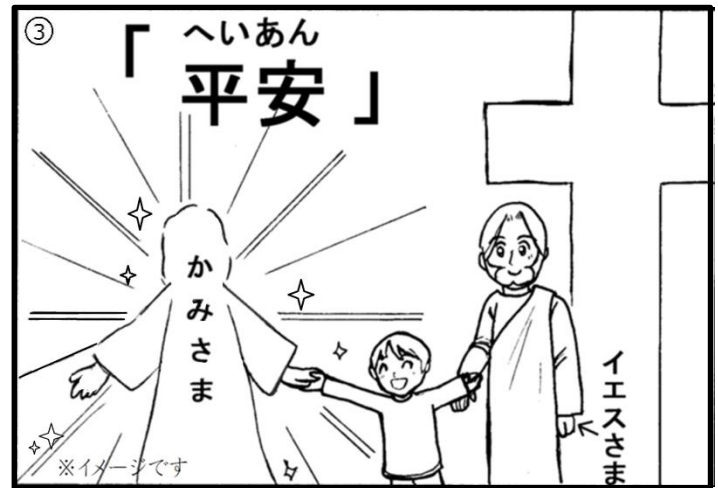
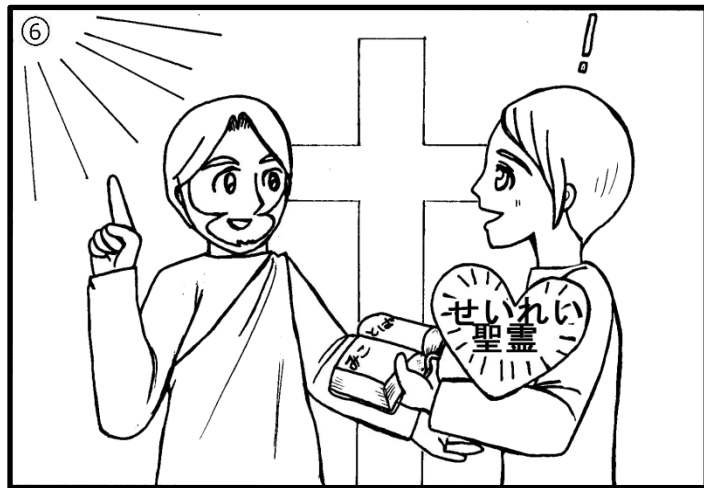
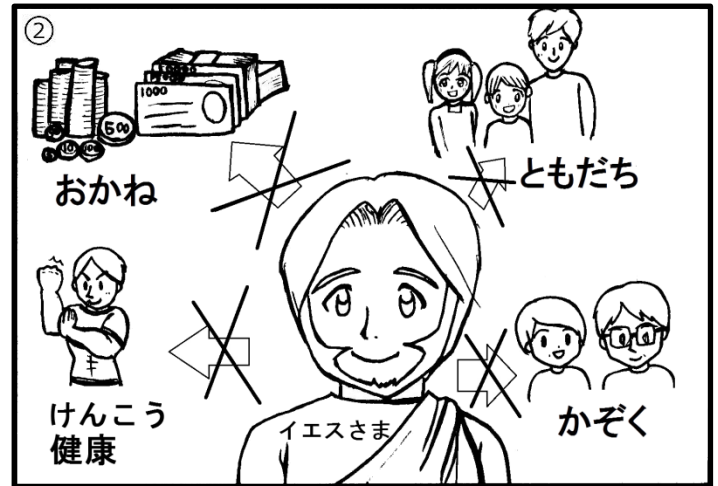
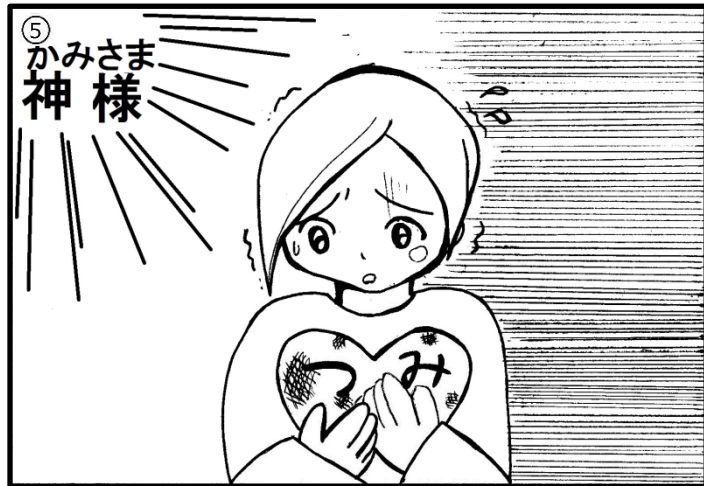
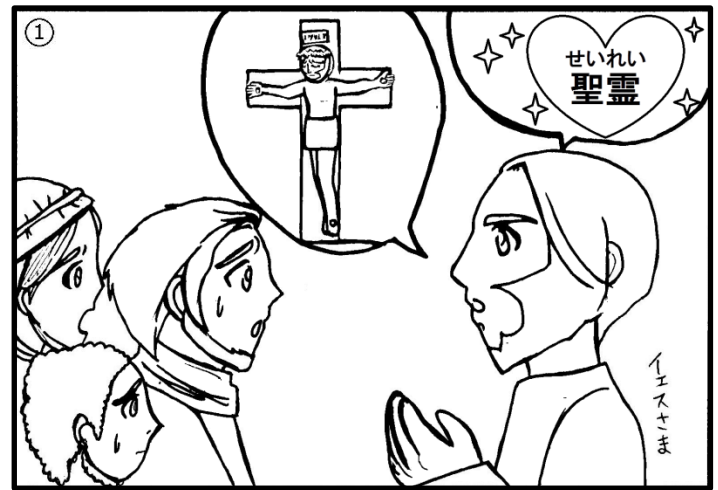
1. イエスさまの弟子たちの心は今、心配や恐れでいっぱいです。だって大好きなイエスさまが、もうすぐいなくなっちゃうって言うのですから。しかも、十字架にかかって死んでしまうなんて…。
2. でも、イエス様はおっしゃいました。「あなたがたは、心を騒がせないがよい」。
3. イエス様が十字架で死なれるのは、私たちが罪の滅びから救うためであり、たとえ私たちの体は死んでも、いつまでも生きる命をくださるためなのです。
4. 「わたしの父の家には、すまいがたくさんある。…あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう」。
5. 「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない」。
6. イエスさまを信じているなら、みんなは天国に向かってまっすぐに進んでいます。心が不安や心配であふれそうになっても大丈夫。道であるイエス様にしっかりつながっているなら、心は天国の喜びであふれますよ！



3月1日 「聖霊を覚えて歩もう！」 ヨハネ 14・12～17

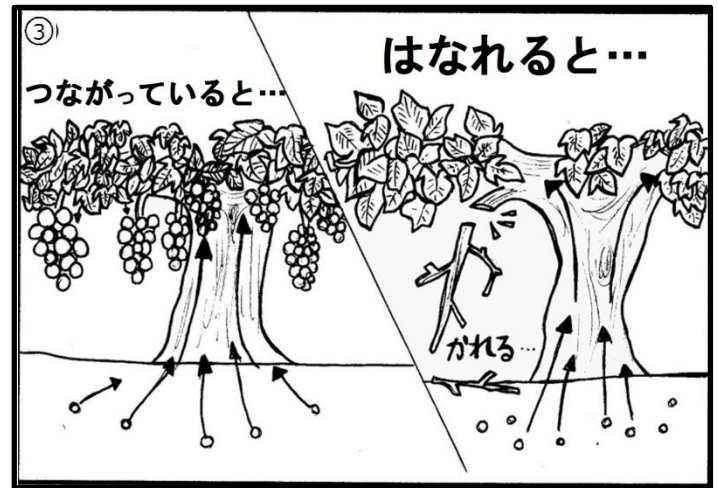
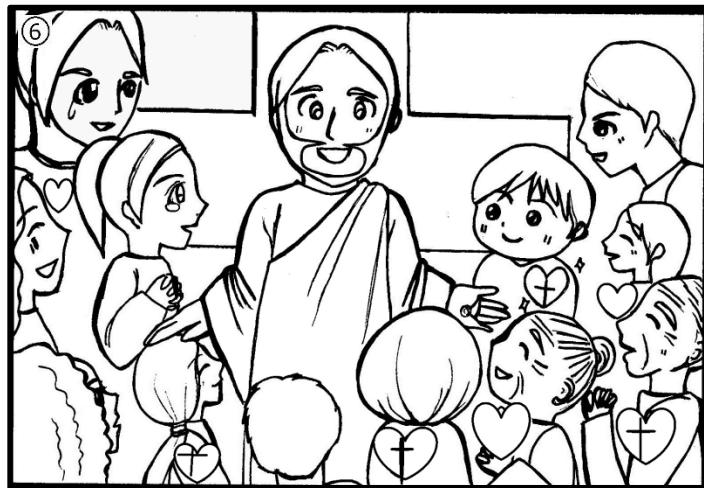
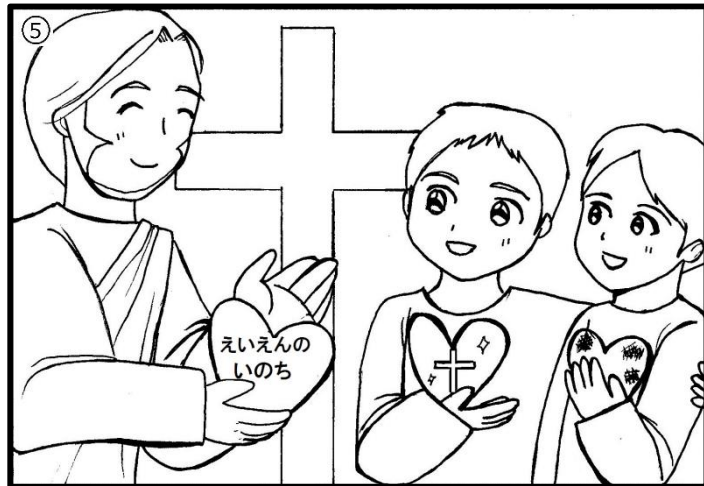
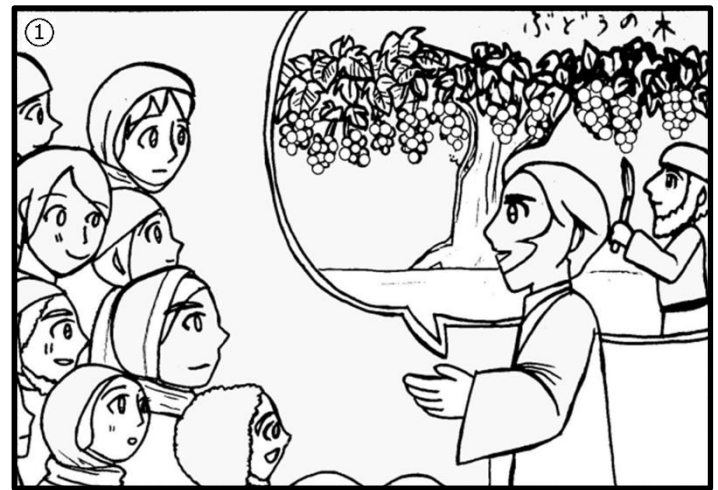
1. 「私は父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って…」と言われたイエス様。
2. 聖書を読んだり、教会学校に来ることができたのも、聖霊の助けがあるからである。
3. 人間の知恵では理解できない聖書の恵み。
4. 自分が罪人であり、イエス様は救い主と信じることができるのは、真理の御霊である聖霊によるのである。
5. イエス様は、私たちを孤児にするようなことはされない。
6. イエス様が神様にお願いして、私たちに送ってくださった聖霊をいつも覚えて歩みましょう。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



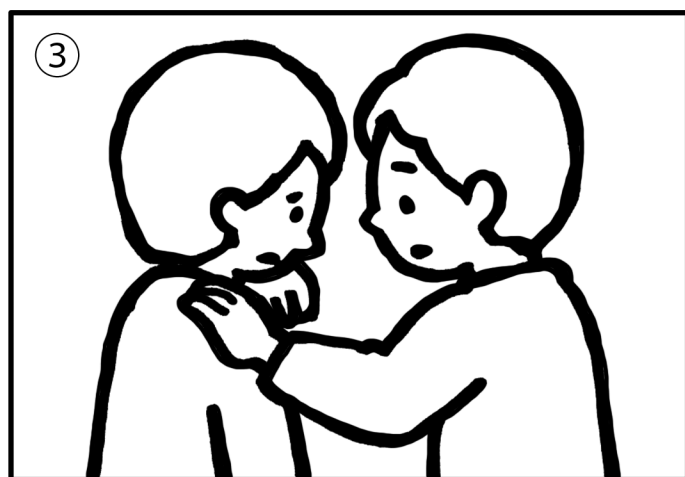
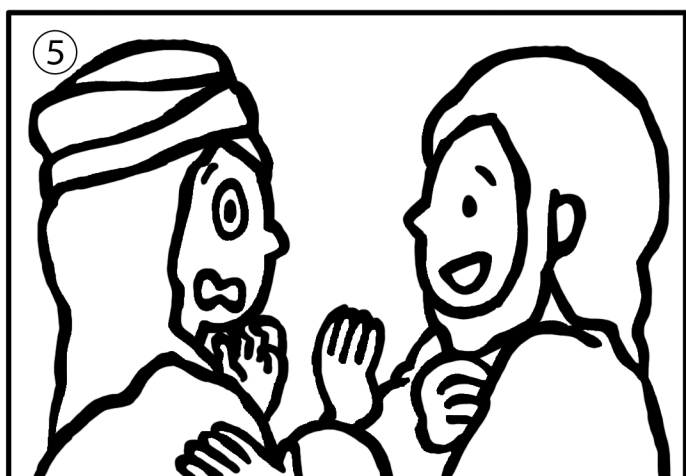
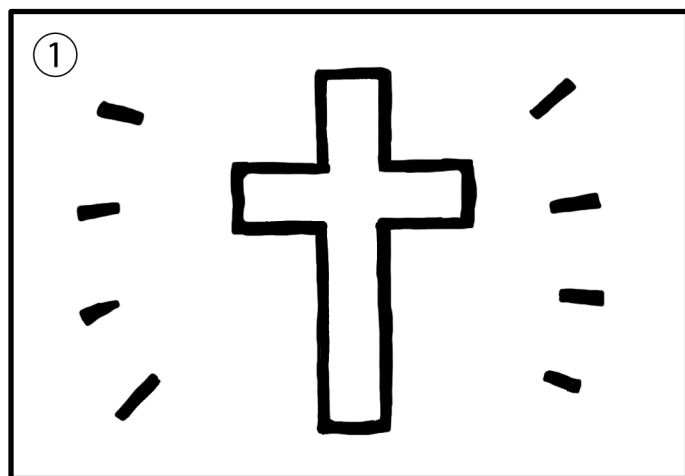
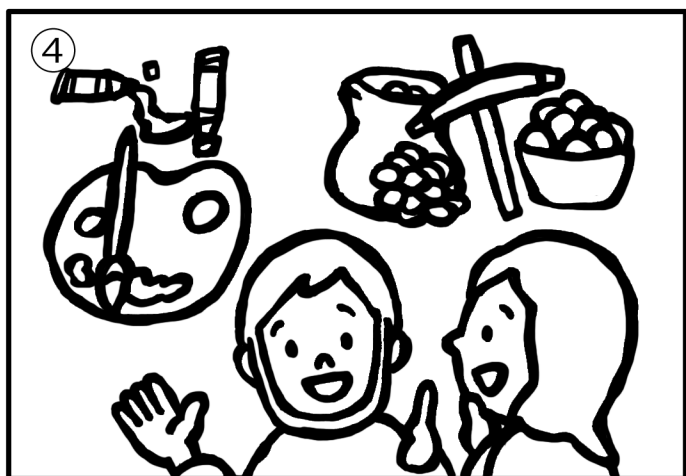
3月8日 本当の平安 ヨハネ 14・27～31

1. イエス様は弟子達に、十字架にかかる事と三日目によみがえること、その後弟子たちの前からいなくなるが、イエス様はもう一度帰ってくる事を話され、イエス様の代わりに聖霊という助け主を送る事を約束しました。
2. お金も、からだや心の健康も、家族や友だちも、イエス様の代わりにはならないのです。
3. 「平安」ということばの根っこには、「神様と正しくつながっている」という意味があります。イエス様がくださる平安は神様とつながっているところから生まれる平安です。
4. 神様はわたしたちを愛していていちばん良いものをくださる方です。たとえイエス様が見えなくなっても、弟子たちがイエス様のおことばを信じて、神様を信用するなら、ここに安らぎがくるのです。
5. 神様を信用するためには、神様と親しくすることが大切です。罪があると神様の前に出たくないなあと思ったり、神様が怖く感じます。罪を悔い改めて、赦していただきましょう。
6. イエス様が約束してくださった助け主、聖霊の働きを信じましょう。聖霊は、わたしたちに聖書のことばをわからせてくださったり、何かを決めたり何かをしたりするときに、導いてくださったりします。



3月15日 つながってる? ヨハネ 15・1～8

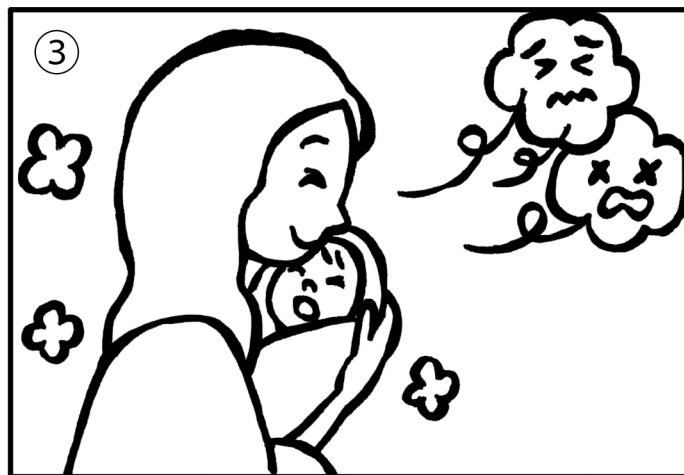
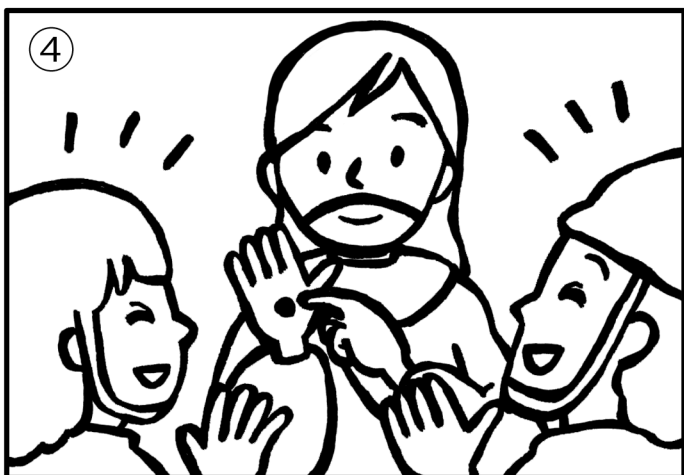
1. イエス様は弟子たちに言いました。「わたしは本当のぶどうの木、父（神様）はぶどうの世話をする農夫だよ。」
2. 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です、わたしにつながっていないさい。そうしないと、あなたがたは自分で実を結ぶことはできません。わたしにつながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになります。」
3. ぶどうの木と枝はいのちがつながっています。根っこから入った水や養分が木から枝に送られます。枝は木がなければ生きていけません。木から切り離された枝は枯れてしまうのです。
4. イエス様につながっているというのは、イエス様といのちがつながっているということ。イエス様を通して永遠のいのちをいただいているということ。またイエス様を通して神様の子どもとされているということです。
5. イエス様につながっているひとは、イエス様のことばや聖書のことばが、栄養のように心に入ってきます。そうすると、イエス様を喜ばせたい気持ちになってきます。
6. イエス様の願いは、わたしたちみんながイエス様につながり、みんなで実を結ぶことです。



3月22日 最も大きな愛 ヨハネ15・12～17

1. 神様はわたしたちの罪を赦すために大事な独り子イエス様を身代わりとして十字架につけて下さいました。
2. イエス様は弟子たちとの最後の夕食の時、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。」と語られました。
3. 友のため、祈り、助け、励ます者と変えられましょう。
4. ドイツのある町にデューラーとハンスという画家になりたいという夢をもったふたりの若者がいました。
5. デューラーは画家として認められ、売れた絵のお金をもって今度はハンスの番だと急いで帰ってきました。
6. デューラーは、自分のために犠牲を払って働き、祈り続けてくれた友だちの手を心を込めて描いたのです。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



3月29日 キリストの名による祈り ヨハネ16・19～24

1. 弟子たちは、イエス様の言われたことの意味が分からなくて戸惑っていました。
2. イエス様は弟子たちが戸惑い泣き悲しむ経験を知っていました。
3. イエス様は「よくよくあなたがたに言うておく。…あなたがたは憂えているが、その憂いは喜びに変わるであろう」とたとえ話をされました。
4. 弟子たちがイエス様と再びお会いする時、「悲しみ、憂い、不安」は喜びで満たされます。
5. 憂いが喜びに変わる「その日」が来たなら、「あなたがたがわたしに問うことは、何もないであろう。」
6. 今を生きるわたしたちはイエス様のみ名によって何でも祈り求めることができるのです。なんて嬉しいことでしょう。